



国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

2024年6月号

6月3日発行

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

がんばりオーラを風に乗せて

運動会を通して、全力でがんばる力、協力する力、役割を果たす姿勢を育てていきたいと考えています。

子どもたちは暑い中、声をそろえて応援したり、楽しそうに踊ったりして、日々頼もしい様子が見られます。

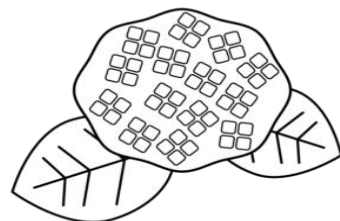
よい結果を出すことよりも一所懸命がんばっている姿が一番輝いている姿であり、がんばっている時には光り輝くオーラが見えると思っています。ですから、競技や演技の時、係の役割の時、応援する時など、運動会に向けてみんなのきらきらオーラで見ている人たちがまぶしいと感じるくらいの姿を見せてあげましょうと、全体練習の初日に子どもたちに話しました。

当日の子どもたちの輝く姿に保護者の皆様の熱い応援をよろしくお祈りします。



6月行事予定

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1日 休業日・英検(希望者) | 22日 スポーツテスト |
| 3日 運動会予行 | 25日 職員会議 |
| 7日 運動会準備 | 26日 第3回学校見学会
(受験希望者対象) |
| 8日 運動会 | 28日 仏教朝礼 |
| 12日 3年市内見学 | 29日 休業日 |
| 14日 縦割り集会 | |
| 15日 休業日(県民の日) | |
| 18日 クラブ | 7月1日 朝会 |
| 19日 第2回学校見学会
(受験希望者対象) | |
| 20日 授業参観・学級懇談
4年高原学校説明会 | |
| 21日 仏教朝礼 | |



思いをことばにして伝えよう!

6年生が、修学旅行の事後学習で作文を書きました。新聞社の投稿欄に送ったところ、朝日新聞から掲載される連絡をいただきました。担当の記者さんから、どの児童の作文も文章がしっかりしていること、文字が丁寧に美しく書かれていること、自分の意見が述べられていることから、子どもたちの能力の高さ、素直さが感じられて感動しましたと、お褒めのことばをいただきました。

全員掲載したいところですが、誌面の関係で今回は4名の作文が掲載されます。6月4日の朝刊の予定です。

子どもたちには今の素直な心を大切にしたいと願っています。



中1の先輩から小学部のみなさんへ

- 中学部は先生が全員優しくとても接しやすいです。
- 先生も友だちもみんなフレンドリーです。
- やればできるよ! 勉強をがんばって楽しい学校生活を送ってね。
- 失敗しても、何度も挑戦すれば必ずどんなことも不可能から可能になります。
- 小学部で学んだことが中学部で生かせる。
- 勉強も遊びも楽しめる人間になれ~!
- 中学生になったら勉強は大変だけど部活や行事などとても楽しいことが増えるので、学校が毎日楽しみになると思う。

さるべき業縁のもよほせば、いかなるふるまひもすべし

親鸞聖人の弟子である唯円(ゆいえん)が、聖人から直接聞いた教えを書き記したものが『歎異抄(たんにしょう)』です。その『歎異抄』に、このようなエピソードがあります。

ある時、親鸞聖人が「唯円よ。お前は私の言うことを信じるか?」と言うので、唯円は「もちろんです。」と答えました。すると聖人は「それでは、人を千人殺してきなさい。そうすれば間違いなく極楽に往生できるぞ。」とおっしゃるので、唯円は驚いて「私の器量では、そんなことは到底できません」と返答しました。それを聞いた聖人は「お前が人を殺すことができない理由は、そういう縁がお前にはないからであって、善人だから殺せないのではないのだよ。また、決して人を殺めてはいけないうちも、もしも縁がもよおすならば、お前は百人でも千人でも殺してしまうのだよ」と仰り、「さるべき業縁のもよほせば、いかなるふるまひもすべし(置かれている状況によって、自分はどんなに非道なふるまいもやりかねない)」と説いたのです。

第二次世界大戦時、ナチスドイツがポーランドのアウシュビッツ強制収容所で多くのユダヤ人を虐殺(推定 150 万人)したことは有名ですが、その強制収容所の看守や職員達が異常な精神性を持っていた殺人鬼なのでしょうか? アウシュビッツ強制収容所の所長ルドルフ・ヘスは、国家の方針に従い、計画的にユダヤ人を虐殺していった人物でしたが、家庭では子煩悩で家族思いであったといわれます。環境に適応する能力を持つ「人」は、条件や環境がそろってしまつと、思考停止し戦争に加担してしまう時もある、負の感情に支配され犯罪を引き起こすこともあります。環境次第で、自分が何をしてしまうか分からない、おそろしい「人」であることを自覚することで、反省と自制にもとづいた他者への思いやりの「エンパシー(共感的な想像力)」を育むことができると思います。

今月の目標

「正しい言葉づかいをし、礼儀正しくしましょう。」

